第９５３回

臨時教育委員会会議録

日　時　　令和８年１月７日（水）　１６：００～

場　所　　保健センター　大ホール

益田市教育委員会

第９５３回　教育委員会臨時会

招集年月日　令和８年１月７日（水）　１６：００～

招 集 場 所　保健センター　大ホール

議 事 日 程

第１　協議

（１）益田市教育ビジョン（第２次）について

（２）その他

出　席　者

教育委員会	教　育　長	領　家　芳　明
	教　育　委　員	原　田　　笑
	教　育　委　員	山　本　ひとみ
	教　育　委　員	森　脇　達　也
	教　育　委　員	大　谷　孝　司

事務局職員	教　育　部　長	藤　本　美　香
	教育総務課長	齋　藤　勝　義
	教育総務課参事	加　田　睦　志
	学校教育課参事	杉　原　貴　宏
	ひとづくり推進課長	岡　﨑　健　次
	文化振興課長	田　中　一　史
	教育総務課会計処理室長	宅　野　昌　子
	教育総務課主任主事	木東地　志緒里

領家教育長　　定刻となりましたので、ただいまから令和７年度第９５３回益田市教育委員会臨時会を開催いたします。会議に入ります前に、大谷委員が１２月より新たに教育委員に就任されました。本日初めての教育委員会となりますので、一言ご挨拶をいただければと思います。大谷委員、よろしくお願いいたします。

大谷委員　　皆さんこんにちは。新年明けましておめでとうございます。

教育委員会に参加させてもらうことになりました。打診を受けまして、議会で無事承認されたということではありますけども、市長から打診いただいたときにも申し上げましたが、私より適任の方は星の数ほど益田市にはおられると思いますとお伝えしましたが、これも何かの縁というか運命だと思いまして、私自身も教育に関する大綱の３本柱であるつながり、ひろがり、ひととまちとありますけども、持続可能なまちづくりの担い手の一人となりますように、この町のため、そして自分自身を磨いていければいいなと思っております。４年間どうぞお世話になりますがよろしくお願いします。

領家教育長　　どうもありがとうございました。大谷委員におかれましては、これから４年間本市の教育行政にご尽力いただきますよう、改めましてよろしくお願いいたします。

それでは、急遽ではありますが、年の初めに臨時の教育委員会を開催することになりました。委員の皆様におかれましては、本当に日程調整等ありがとうございました。

議事に入らせていただきます前に、本日は協議案件が１件となっております。この案件につきましては、その性質上、非公開の形式でご審議いただきたいと思います。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１４条第７項の規定により、出席者の３分の２以上の多数で議決した場合は非公開で進めることができる旨の規定がございます。本議案を非公開の形式で審議いただくこと、ご異議ありませんでしょうか。

教育委員　　＝全員了承＝

領家教育長　　ありがとうございます。では、全員賛成ということで、非公開で進めてまいります。

第１　協議

（１）益田市教育ビジョン（第２次）について

領家教育長　　では、協議事項益田市教育ビジョン（第２次）（案）について事務局より説明を求めます。

齋藤課長　　それでは、改めまして、明けましておめでとうございます。ぜひともご審議等もいただきながら進めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

協議事項ということで、新春早々ではございますが、昨年度４月より取り組んでまいりました教育ビジョンの見直しに関して、１２月の定例会で報告をさせていただきましたけれども、益田市教育審議会からの答申をいただいたところです。これに基づいてビジョンを策定していくということで、その素案ができましたので、皆さん方に協議をいただきたいという内容でございます。

最初にビジョン案の計画期間についての協議をいただきたいというところではありますが、その前に皆さん方にまずこのビジョンを策定するに当たっての策定スケジュールに関しまして改めて先にご説明をした上で協議の内容に入っていきたいと思います。益田市教育ビジョン（第２次）の策定スケジュール（案）についてという資料をご覧ください。今年度中に見直しをして、策定をしていく方向になります。先ほどお話をしました、昨年の末において市教育審議会からビジョン見直しに向けた諮問事項に対する答申をいただいたところです。この答申については、諮問事項自体が本市の教育が目指すべき方向性と進むべき道筋についてということで、１番目に現在の教育ビジョンにおけるこれまでの取組に対する評価、そして２番目に評価を踏まえた本市の教育が目指すべき方向性についてということを諮問してまいりました。これに対しての答申をいただいたところです。先般の１２月２５日に定例教育委員会でこの内容について、時間もない中ではありましたが、答申の内容についての報告をさせていただけたというところでございます。本日の臨時教育委員会でこのビジョン案に対しての協議を行ってまいりたいというところです。

今後の流れは大きく３つあります。１つ目は、やはり今日いただいた意見、ここで協議をいただくということになりますが、まずはここで見ていただく内容を踏まえたご意見等を出していただくというのがまず１点。

そして、この後になります、そのいただいた意見をもって修正を行ったものを改めてビジョン案として整理をします。それをもって１月１５日をめどに大体２０日間、市民の声を聞くパブリックコメントを実施していきたいと思っております。昨年度学校再編の計画につきましてもパブリックコメントをかけて

きたところです。ご意見等々もありますので、これに対してのご意見に対する回答、そしてこれもホームページ等で公表するという流れになります。こちらも同様に行っていきたいと思っています。今予定としまして、１月１５日にかけた場合については、２月４日までの期間でパブリックコメントをいただくような予定でいきたいと考えています。

こちらが終わりましたら、その意見に対する整理をしながら、２月９日になりますが、市議会の総務文教調査会が開催予定となっております。ここでパブリックコメントの結果を踏まえた報告を行ってまいりたいと思います。総務文教の委員の皆さんからもパブリックコメントの結果ないし、またはビジョンに対するご意見等もいただけると考えてございます。

ここでいただいた意見を踏まえまして、市議会、また市民の方々からもいただいた意見を踏まえたものを最終的に調整したものをもって、今予定では２月１６日開催予定の定例教育委員会でビジョン案に対する議決をいただきたいと考えています。ここで議決をいただきますと、このビジョンにつきましては教育委員会が策定することになっておりますので、案というものが削られまして、正式なビジョンとして成り立つということになります。

それ以降、３月１０日には、３月の市議会定例会が始まり、総務文教委員会を開催する予定となっております。ここでビジョン策定に関しての報告をしてまいりたいところです。

この後につきましては、昨年１２月に策定をしました教育に関する大綱をどのようにホームページ等々、それ以外にもいろいろな手段で周知を図っていきたいと考えているところです。策定スケジュール案につきましては以上の流れになります。

それでは、議事日程の次の益田市教育ビジョン（第２次）（案）についての１、２、３という項目に変わっていきたいと思います。それではまず、提議をさせていただきたいことが１つあります。これにつきましては、答申では内容的なものを方向性として市教育審議会からいただきました。ビジョンとして打ち出すということになりますと、計画でございますので、計画期間を決めていく必要性がございます。

まず、ビジョンの案の計画期間というところですが、既存、今現状のビジョンに関しましては、計画期間１０年間というところになっていたかと思います。この１０年間を踏襲して行っていくのかというところもありますし、また教育に関する大綱

を昨年１２月に見直しをしました。この中で、大綱については計画期間１０年間として今回策定をいたしましたが、時代の流れ、本当に早い流れがあります。そういった意味合いでいきますと、５年を経過した時点で一度見直しをするということを盛り込んで打ち出してきたというところがあります。これも一つの計画期間を検討する材料になると考えています。

また、ビジョンの計画期間を含めて言うと、そこら辺の２つの事項を踏まえて調整をする必要性があるかと思いますが、事務局側としましては、先ほど言いました、今回のビジョン自体がやはり大きく教育に関する大綱の流れを受けたものになっておりますので、できればこの５年という一時見直しに合わせて、この経過した時点での見直しということを考えたらいかがかなと考えているところでございます。１段落目のここで一回切ったほうがよろしいでしょうか。

領家教育長　　はい。

齋藤課長　　それでは、ご意見をお願いいたします。

領家教育長　　ありがとうございました。そうしますと、今日の話の持っていき方を最初に説明をさせていただいて、それからご意見を聞かせていただければと思います。

先ほどの資料の益田市教育ビジョン案（第２次）というのがありますが、その１枚めくっていただきますと、そのビジョン案に目次があります。目次の中に、「はじめに」からずっといろいろなことが書いてあります。その中の２５ページの６番、「ビジョンを進めるために」というのがございますので、それを見ていただけますでしょうか。「次に示すそれぞれの事項により取り組んでまいります」と、①、②、③が書いてあります。先ほど齋藤課長から提案があったビジョンの期間がこの①に当たる部分だというふうに理解しているので、まずここの話合いをさせていただこうと思います。

その後、②、③で「実現したいこと」、「取り組んでいくこと」を基に毎年評価ができる体制を構築しますと書いてあります。これが前回の定例教育委員会のときに山本委員からご指摘があった、「評価は大事だからどのようにするのかを明確にしていかないといけない」というご指摘から多分出ていることだと思います。このあたりを次に２つ目の話合いの基にして、３番目の「ビジョンを進めていく上で行政のセクションが協力して取り組みます」も含めて、ビジョン全体の構成について皆様方の、もう少しここら辺しっかり記載したほうがいいのではな

いか、内容が薄いのではないかというようなこと等、ご意見があったら、部分のところに入っていくような形で進めようと思います。ですから最初に全体の計画期間についての議論をします。その後、評価も含めてビジョンの見せ方について皆さんのご意見を聞かせてもらって、この進めるためにの①、②、③をもう少し深めて書き加えないといけないという思いも持っていますから、そこを少し考えていただいて、最後は各論のところで様々なご意見があればという流れにしようと思っています。

ただ、今日の協議時間が１時間しかありませんから、３番目の各論の部分についてもし時間が足らない場合は、皆さん方からご意見をメッセージ等でいただきながら、個別の指摘は個々で加えていただくようなことを取らないと時間が足りなくなるかもしれませんので、そこら辺をお含みおきいただければと思います。よろしいでしょうか。この３つの段階で進めさせていただきます。

では、①番です。先ほど齋藤課長からも説明がありました、この第２次のビジョン案の計画期間につきまして、ここでは「大綱が５年を経過した時点で一部見直しを行うことに合わせ、令和１２年度までの５年間とします」と記載がしてございます。このことにつきまして、まずご質問、ご意見がございましたら伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

教育に関する大綱は計画期間を１０年間として、５年間で一度見直しをしましょうということで決定をしたと言いますが、ビジョンはまず５年間という流れの提案でございます。いかがでしょうか。

森脇委員　　５年間ぐらいが妥当ではないかなと思います。長い目で図ることはすごく大切だと思いますが、やはり時代がすごいスピードで流れていて、５年後はどうなっているかは本当に分かりません。５年ぐらいがちょうどいいと思います。教育に関する大綱との連動性も図れることを考えると、５年間がいいのかなと思います。

領家教育長　　ありがとうございます。ほかの皆さんはいかがでしょうか。

山本委員　　私も５年間がいいと思います。時代背景がかなり影響される部分だと思いますので、５年間ごとの見直しというのは妥当だと思います。

領家教育長　　ありがとうございます。

原田委員　　皆さんと同じ意見ですけれども、５年間が適当ではないかと思います。教育に関する大綱が１０年という計画期間である中

で、大きな変わらない軸として置いて、臨機応変に対応できる部分をビジョンとして対応していくという位置づけであったとしても、５年間が妥当ではないかなと思います。

領家教育長　　ありがとうございます。大谷委員、いかがですか。

大谷委員　　私が評価の資料をはっきりとまだ目を通してないですが、まだいろいろな分野ですぐに評価と成果として直接的に出るものもあれば、二次曲線的に成果が出てくるものもあるでしょうから、あまり早い年数で判断してしまうと、その後もっと出るのもあると思います。本当は分野ごとに評価を決めることがよいのでしょうけど、そういうわけにもいかないでしょうし、５年ぐらい見てから判断するということでいいのではないかと思っています。

領家教育長　　ありがとうございます。

齋藤課長　　補足の説明です。多分皆さんも覚えておられると思うのですが、総合教育会議の中で３つのキーワードの話をする際に、この教育に関する大綱の計画期間を１０年間という期間で、５年をめどに見直しをしましょう、その５年をめどにするときにキーワードの３つを、場合によってはその時代に合わせて変える調整をします。テーマとコンセプトはそのままで行きますけれども、３つのキーワードは変えますということになるかもしれないというところを含めて、５年という形になったと思います。

今回のこのビジョンの作り込みでいくと、この３つのキーワードが軸になって、その下に大切にしたいこと、それぞれのキーワードごとに２つの項目ごとに挙がっていると思います。例えば１つでもキーワードを変えてしまうと、その全体が変わってきてしまうということもあるので、事務局としてはあくまでそこが変わるという前提があれば、やはり５年で変えるべきではないかという思いで変えたところもありますので、補足説明として加えさせていただきます。

領家教育長　　それでは、先ほどの補足説明も合わせまして、皆さんの総意としてこの第２次の教育ビジョンにつきましての計画期間は令和１２年度までの５年間で同意していただけるということでよろしいですね。

教育委員　　＝全員了承＝

領家教育長　　ありがとうございました。そうしますと、次にビジョンに掲げる実現したいこと、取り組んでいくことを基に毎年評価ができる体制を構築しますと書いてあります。これらを含めて事務

局から説明をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

齋藤課長　　それでは、先月の定例教育委員会で答申を踏まえたご説明をさせていただきました。ビジョン体系図というページを見ていただければと思います。先ほども申しましたが、やはり今回のビジョンは、これまでの既存のビジョンとは違って、大綱の中における３つのキーワード、その注釈、説明文を中心に、そこからひもづく施策、内容、それが表現として「実現したいこと」、「取り組んでいくこと」と整理され、この中に列挙されているところでございます。

先ほど教育長が申されましたが、ビジョンに掲げる「実現したいこと」、「取り組んでいくこと」というのは、表現上は柔らかい表現になっていますが、基本的には教育委員会が今取り組んでいこうとしている施策、その内容というものになってくると思います。そういたしますと、やはりそういった施策は毎年行っていくことになりますし、もちろんそれを見直して取り組んでいくこともあるでしょう。そういった意味合いでは、この施策、そしてそれに取り組んでいく内容についても毎年評価をしていくことが必要だと思っております。こちらの部分に関して言えば、やはりその体制を構築することが必要であり、それを振り返りながら５年間を積み上げていくという整理が必要かと思いまして、「ビジョンを進めるために」という中には、こういった部分を列記する必要性があると思いまして、この中に入れたところでございます。

事務局側で考えている部分をお示ししますと、既に事業評価については、毎年点検評価報告書をまとめています。この中には、これそれぞれで行っている事業関係を各課が事業目標を掲げた上で、目標に対しての進捗具合を含めた整理をし、毎年９月にはその報告を市議会にも行い、ホームページ等で開示をしています。毎年の評価の体制という意味合いでは、ここにひもづけていくということも一つの手段であると考えております。協議事項として、事務局側として提案させていただきたいと思っております。以上です。

領家教育長　　ありがとうございました。ビジョンに掲げる「実現したいこと」、「取り組んでいくこと」を基に毎年評価ができる体制を構築するというのは、今のような意味があるということの事務局からの説明だと思います。どうでしょうか、評価すること、それから評価の中身が「実現したいこと」、「取り組んでいくこと」をベースにするということがどうなのかとか、あるいは

評価をするためには市民の皆さんにどんなことしているかを分かってもらわないといけないですよね。そんなことも含めて、皆さん方からこれをつくるに当たって、進めるためにこんなことをやはり大事にしていくことを書き込んでいたほうがよい、あるいは事務局にこんなことを意識してもう少し工夫してもらうことがあるとか、そんなことについてご意見を伺うことが一番大切な部分ではないかなと思っています。お考えのところをまず聞かせていただければと思いますが、いかがでしょうか。

森脇委員　　「実現したいこと」、「取り組んでいくこと」というのは事務局側といいますか、行政側の実施率という部分で、それがちゃんと毎年確実に行われているかというのが非常に大切なことじゃないかなと思いますが、子どもたちや市民の皆さんにどれぐらい浸透しているかとか、広がっているかみたいな評価がやはりあったほうがよいと思います。せっかく教育ビジョンを策定するのですから、何か励みになるといったらおかしいですけど、それがやはり必要ではないかなと思います。ですので、どのような言葉でアンケートなり調査なりをするかはまたしっかり考えていく必要はあると思います。せっかくこの「大切にしたいこと」ということで、いろいろな協議をしながら、つながりで「私たち教育委員会としてはこういうことを大切にしたい」ということがこのように２つずつ設けてあります。これを何とか評価できるといいかなと思います。子どもたちにこういう「私たちが大切にしたいと思っていることがすごく伝わっている」とか、「市民の皆さんにこういう意識が出てきたな」とか、何かそのようなことが分かるようにできるといいかなと思いますけど、いかがでしょうか。抽象的で申し訳ないですけど。

山本委員　　関連ですが、やはり評価するときに指標が要ると思います。これだけ見ると何に対してどこまでの評価をするのか分かりにくいので、森脇委員さんが言った「市民がどう思っているか」と「市民がどのように受け止めているか」というところも指標の一つとして必要だと思います。そういう指標が明らかになっていればいいかなと思いますし、それを市民にもお伝えしたほうがいいのではないかと思います。

もう一つ、毎年事業評価報告書を大変な思いをして作っておられると思うので、これまでの報告書に項目をプラスすることがなく、うまい具合に新たな指標をつなげていっていただくといいなと思いました。

領家教育長　　整理すると、ある意味市民の皆さんに指標のような、さっき森脇委員がおっしゃっていた「大切にしたいこと」という２つのことがどれだけ浸透しているのかも含めた指標的なものをお見せするのも一つの手ではないだろうか、それから「実現したいこと」、「取り組んでいくこと」はこの外部評価の部分とうまくドッキングさせるという２つの意見だという理解でいいでしょうかね。ありがとうございます。

山本委員　　できれば、指標はみんなが分かっている、事務局でも明らかにしていたほうが評価しやすいと思います。

領家教育長　　ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

原田委員　　評価となるとどうしても、何％とか何件中何件というように数字として表さないといけなくなるかと思います。しかし、それでは表せないことも多くて、それだけが全てではないということを理解していただけるような表現の仕方になってほしいと思います。それだけをやっているわけでもない、ほかのこともやっているけれども、一部の評価としては、評価できるものはこれですということを分かっていただけるような形にできればよいのかと思いました。抽象的で恐縮ですけど。

領家教育長　　つまり数字の結果の例えとして、何％だけではないとか、何ポイント上昇だけではないということも大切に、この教育ビジョンの中では評価として受け止めることも大事だよということをどこかに書いてほしいということですね。ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

大谷委員　　私は話が違うかもしれません。つながり、ひろがり、ひととまちが並列で書いてありますが、文章で見るとひととまちはつながりとひろがりでと書いてあるので、私のイメージでいくと、どうもピラミッド形でつながりとひろがりの上にひととまちがあって、この２つが充実してくれば、このひととまちというのも効果的になっていくものだというふうに私は捉えました。けれど、そうではなく、並列であるというのであれば、また話が変わってきますが、もし並列ではなくて、ひととまちというのはつながりとひろがりのところがうまくいけば発展していくという考えであるならば、ひととまちの評価というのはタイムラグがあると思います。つながりとひろがりよりも１年多くとか、もう少し遅くスタートしてもいいのかなと思いました。あと子育て世代、この分野においては自分の興味があるからいい点をつけて、ほかのところをゼロと例えばつける人がいたとしても、うまくいっていないわけではなくて、そもそも興

味がないということもあります。市民代表として言いますと。なので、なかなか評価の結果を客観的に判断材料として使うのは難しい、でも評価しないといけない、だけどそういう人たちも世の中には多いという前提で判断しないと、自分の興味あること以外はむしろ何もしてくれないのが一番いいという人たちもこの町には多いと思います。

領家教育長　　なるほど。ということは、さっき山本委員がおっしゃっていた目標指標をどのようなところに置くかというのも一つの手なのかもしれませんね。難しいところです。それから、原田委員がおっしゃっていた数字だけではない世界だというのも、それに関わるような発言ではないかなとうかがえました。ここで教育委員さんの意見が一通り出ていますが、コメントがありますか、事務局。

齋藤課長　　難しいですね、コメントと言われますと。

確かにまず教育に関する大綱をつくったときに、キーワードになるものとしてひろがり、つながり、ひととまち、もちろんその上には「対話」がつなぎ、「対話」でひろげるひととまちの多様性と可能性というコンセプト、これは総合教育会議の中で市長と教育委員の皆さん方で考えられた内容だと思っています。先ほど大谷委員さん言われました、ピラミッド形かどうかという話ですけど、僕の感覚としては、僕は並列だと思っています、基本的には。ですので、どれも大切です。そのキーワード一つ一つが大切だという位置づけではないかなと考えています。もちろんそこに注釈文として出ている、そして大切にしたいこととして出ているのが、これもそれぞれのキーワードにひもづくものとしての、教育委員会が今教育の中で大切にしていきたいこととして捉えたことでありますし、実はこれに対しても、たしか皆さん方も覚えておられると思いますが、この文面ではない、要するに施策に関わる部分でどうだろうかという協議を総合教育会議が終わった後にしました。皆さん方のご意見をいただく中で、やはり大綱の中にひもづくコメントとしてこれを残していこうよというお話でこれを確定したと思います。ですから、どれも同じ、位置づけとしては大切であると考えています。

そういった中で、もちろん先ほど森脇委員さんが言われた、この２つずつのキーワードにひもづいているもの、これをもちろん原田委員さんも、そして山本委員さんも言われる指標的なもの、数字的なものではない感覚ところも含めた評価につなが

るものとなると、具体でどのように出していくかについては少し考えないといけないと思いました。一番簡単なのは、原田委員さんの言われたように指標で数字を使い、何％以上としてしまうことが簡単ですが、それだけでは見えないものというのは多くあると思います。こちらについてヒントをいただきたいと思います。もう少し議論いただければうれしいと思います。

領家教育長　　ありがとうございます。では、もう少し事務局にヒントを与えるために、皆さんが思っておられるイメージや思いつきでも結構ですので、何か感じられたこと、あるいは他の委員さんがおっしゃっていたことを踏まえて追加の発言をいただければうれしいと思いますが、いかがでしょうか。

森脇委員　　評価というとどうしても数字で出していくことが多いわけですが、それだけでは、先ほどあったように、興味がない分野について辛い点数をつけたりすることもあり得ますので、こういうアンケートなり調査なり、市民の方に実施するとなると、評価を生かしていくことを皆さんにお知らせすることもすごく大切だと思います。大体こういうアンケートや調査をすると、いつの間にか結果があやふやになったりするので、それよりも最初に「こういうビジョンをつくりました」というお知らせというか、広く周知するということ、それからアンケートなり調査なりで、「皆さんのご意見聞きたいです」ということをお知らせする、そして何よりもパーセンテージも大切ではあるけど、「参考にしたいと思ったご意見」とか、そういう表現でいいかどうか分かりませんけど、そういうのをまたお返しするところまで、少し丁寧にいろいろやってみるのもいいのかなと思いました。

領家教育長　　ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。ふっと思ったこと、それがヒントになると思います。僕個人的に思っていることは、「実現したいこと」とか「取り組んでいくこと」を実際市民の方たちがどのくらい知っておられるのだろうということです。

学校に関する保護者さんやあるいは公民館に出入りしてくださる方たちはまだ理解されているかもしれませんけど、先ほどの大谷委員の発言ではないですけど、「俺は釣り以外のことはやめてよ」という人たちもいるわけです。そうすると、いろいろな世代の方たちに何を教育が取り組んでいるのかについて、また世代ごとに、ＳＮＳがいい世代もあれば、我々のように若干広報がまだよかったりする世代とか、もっと上の世代の方た

ちもたくさんおられるので、例えば公民館にポスターを貼っておくのがいいとか、様々な周知の仕方で１年間取り組んでいて、それも大切にしたい６つのことを目指してやっていることをアピールすることが、評価以上になると思います。それが最初に森脇委員が言っていた、このことがどれだけ皆さんに伝わったのかということになるとすれば、もっともっとやっていることを可視化する、見える化することを意図的に取り組んでいかないと、計画だけ立派なのができた、それぞれの部署でそれぞれの事業をしています、結局関係する人以外は誰も知らなかったということになってしまうと、本末転倒だと思います。我々が大切にしたいと思っているこの６つのことが市民の皆さんに実現していくのは遠いかもしれないと想定すると、教育ビジョンをアピールしたという回数ではないですけど、そのようなことも一つの指標にすることも大事であり、それが評価につながる初めの一歩になるようなことを僕は感じました。

そのようなことも含めて、指標をどうするかについて、いろいろなアイデアが出てくるのか。どうしても計画を作ったら、みんなに分かってもらったつもりになって、でも分かっているのは作った人だけだったということは間々あると思います。教育ビジョンをアピールしていき、そして評価していくことを市民の皆さんに、さっきの森脇委員が説明したようなアピールが必要なのかもしれないということを、皆さんの議論を伺いながら僕は感じました。いかがでしょうか。

山本委員　　計画をつくるだけでなく、それを広く地域にも周知することが大事だと思います。評価の指標としては、「ビジョンがあるということを知っていますか」、「その内容について理解していますか」、「興味がありますか」、「学校に行ったことがありますか」、「学校の行事に参加していますか」なども指標になるのかもしれないなと思います。何のためにビジョンを作ったのかというところまで理解してもらえると、よいと思いますが、なかなかそれをアンケートで取るのは難しいとは思います。そういう理解度も一つの指標になるだろうと思いました。

領家教育長　　「わたしの学びが、ひととまちの未来を拓く」が一番のテーマです。一人一人が主人公ですということをまず理解していただくことがとても大事なように感じます。これは学校のための計画ではないことを理解してもらいたいです。

山本委員　　学校現場や保護者には、このビジョンについて説明をする機会が多分あると思いますが、例えば公民館活動や、地域のいろ

いろな集まりやイベントで教育ビジョンが話題に出るような、何か教育ビジョンを活用して話が発展できるようなそういう場も必要であると思います。新たに何かをする必要はないですが、今あるところにプラスこういったビジョンのような要素を入れていくというところが、実際できているかどうかというところも評価の指標になるかもしれないと思いました。

領家教育長　　そういったあたりは多分社会教育のいろいろな場面で必要になってくることかもしれないですよね。そのほかいかがでしょうか。

原田委員　　「わたしの学びが、ひととまちの未来を拓く」が大綱のテーマですが、学びが形として未来を拓くようになるには５年では足りないものもあると思います。長期間を見据えてのテーマなので、１年ではもちろん、５年でも評価できないこともあると思います。ですので、「私の取り組んでいることが将来につながっていると思う」や「誰かの役に立つと思う」というような質問への回答も指標にあってもいいのではないでしょうか。現段階では評価できないけれども、今どのような視点で取り組んでいるかを指標に入れてもよいのではと思います。

領家教育長　　なるほど。つまり毎年、単年度、今年これができた、できないという評価も大事かもしれないけれど、そうではなく、先ほど大谷委員がおっしゃっていたような、つながりとひろがりの２つが町を発展させるのであれば、やはり先を見てやらないといけない、あるいは５年後、１０年後かもしれないというような評価指標も市民の皆さんに投げかけることがこれの目指している姿を理解してもらうことにつながるという意味ですよね。そんなことも含めて考えるのはどうだろうかという意見ですね。

齋藤課長　　ありがとうございます。他市の状況を見たときに、例えば大田市とか浜田市については、目標値、あるいは指標というものを明記されていますが、最近策定された雲南市については、そういう指標はありません。ただどんな評価をされているかというのは分かりませんけれども、それぞれの市独自にいろいろな、これはビジョンとは言いつつ教育振興基本計画という位置づけなので、基本的には方向性というところを示すものだと考えています。先ほど言われたように、例えば指標という意味合いではなくて、今自分が今後これから先１０年先なり、自分が益田市のために役立てる勉強していると思うとかいうような位置づけで聞くと、その中に例えば本当に肯定的な意見とかって

いうのがあれば、その率が高ければ高いほど自分たちが取り組んでいる教育という施策が評価として出てくるのかなと皆さんのお話を聞くと少し思い浮かんだので、もしそういう体で皆さん方が一致されれば、やはり１つずつそれぞれのキーワードごとに２つの大切にしたいこととありますので、これに関わる質問肢を多くの方に聞きながら、それを捉えて整理をして単年度ごとに積み上げていくという流れも一つやり方としてあるかなと思ったところです。以上です。

領家教育長　　大谷委員、どうですか。

大谷委員　　確かに私も理系の人間だったので、データをまとめるのが、本当に正しいデータができているのかどうか分からないでまとめることはかなり苦痛です。ああいうことになるぐらいだったら、今齋藤課長がおっしゃられたような方向で行かれたほうがいいし、もし５年後に見直すということがあるとすれば、どういう状態であれば見直すかについて少しここでぼんやりでも決まれば、そこに行っているか、行ってないかを１年ごとに見ていけばいいだけの話じゃないかと思いました。

領家教育長　　なるほど。

大谷委員　　あまり、いろいろな人がおられるのをまとめてもね。それが正しいデータかどうかが分からないのではないかと思ってしまいます。あまりいい案がなくてすみません。

領家教育長　　いえ、ありがとうございます。

抽象的に思うのは、このビジョンを進めるためにの②のところに、今の議論のようなことを書き込んで、言葉として書き込んでもらっておくと、それがこのビジョンを進めていくための思いであるということになると思っています。ただ単にこの「実現したいこと」、「取り組んでいくこと」を基に毎年評価ができる体制を構築しますだけでは伝わらない部分を、「周知のことです」とか、それから「少し遠くを見つめて評価していきます」とか、それから浸透度、このビジョンの浸透度とか「実現したいことの浸透度ということを大事にしていきます」とか、「ただし取り組むこととかは毎年毎年確実に評価していきます」というような、今したような議論をこの②にところにしっかり書き込んでいただくことが皆さんの思いを実現することにつながり、それを踏まえて、事務局がいろいろなこと、社会教育の分野や、地域づくりの分野でとか、学校教育の分野で取り組むことの見通しになるのではないかと思います。そのようなことを書き加えて、それを事務局の提案として一度皆さん

に見てもらって、パブリックコメントにかけるみたいな方向はできそうですか。

齋藤課長　　ありがとうございます。ここに事務局として、私だけではなくて、各課長もおります。そういった意味合いでは、各課長もこの今の議論を聞いていると、現状からすると、先ほど教育長の言われたようなところについて整理をして、その上でこのビジョンを進めるための２番目に今示した内容を充実、拡充させたものにした整理で、評価の指標という部分の思いを入れ込んだ形にすることは必要であると考えています。ですので、具体的に例えば出すとしても、このビジョンの案の中に、この指標ですというものではなくて、まずは大きい部分をここで示しつつ、具体は今から単年やっていく中で整理をしていくというところで、また場合によってではないですが、こうやって教育委員会の議題として取り上げさせていただいて、こういう指標でどうでしょうかというところを一緒にお考えいただきたいと思いながら、今整理をしていきたいと思ったところです。以上です。

領家教育長　　事務局からの今コメントいただいて、無理難題を押しつけているように思いますが、せっかくだから森脇委員、何かありますでしょうか。

森脇委員　　評価のほうはそれで本当いいと思います。教育長からもあった見える化というか、あの項目を起こしてでもいいので、やはりあったほうがいいと思います。その方がどのように市民の皆さんに伝えるかということをみんなでしっかり取り組んでいけたらいいと思います。項目を起こしてでもいいので、少しそのあたりを述べていただきたいなという気持ちがあります。

齋藤課長　　今森脇委員からいただきました内容につきましても、いろいろな情報発信の仕方があると思います。インターネットを使うというのもそうでしょう、今までの広報という形もそうでしょう、ですができる限りのそういったところを情報発信できるところを使っていくことをこの中にも盛り込んで整理をしていく、今いただきました意見を踏まえて整理をしていきたいと思います。

領家教育長　　原田委員、情報発信の何かいい方策ご存じでしょうか。世代によっていろいろあると思うのですが。

原田委員　　私も苦戦しています。本当におっしゃるとおり、世代によって見るメディアも全然違いますし、今大谷委員さんがおっしゃったように、今若い世代は特に自分の興味があるものしか見な

くなっているので、そこの壁をどういうふうに突破していくかというのは、本当皆さんのお知恵をお借りしたいです。

領家教育長　　我々世代はどんな情報が一番分かりやすいですかね。ある程度ＳＮＳも見ますし、だけど活字情報のようにデジタルではない情報もちゃんと見る世代もいますよね。何かいろいろな世代をターゲットにした工夫が要るような気がします。それがみんな同じじゃないというところが今の時代なので。そんなことも含めて、いろいろ、無理難題かもしれませんが。

山本委員　　「ビジョンを進めるために」というところです。最後の言葉が丁寧なところとそうでないとこがあると思います。「取り組んでまいります」というのは、「取り組んでいきます」のほうがいいと思います。それから②番「構築いたします」は「構築します」とそろえたらいいと思いました。

領家教育長　　語尾の整理の仕方ですね。

齋藤課長　　ありがとうございます。時間がなかなかないので、そういったところも含めて本当はいただきたいところなのですが、お気づきの点があればぜひとも事務局に言っていただければと思います。先ほど最初の冒頭で教育長も言われました、今日いただいたものを含めたビジョン案をいま一度教育委員の皆さんに見ていただいて、その上でパブリックコメントかけていきたいと思いますので、そこの点で再チェックをよろしくお願いできればと思います。

領家教育長　　あと残り時間１５分ぐらいなので、今度は目次を見ていただいて、全体構成とか概要、目次をぱっと見てお感じになられることがあれば少し言っていただいて、今日の議論はここら辺までにして、先ほどのいろいろなことについてお感じになっておられることは、また教えていただくというような形で進めようと思いますが、事務局、この目次から構成みたいなところで何か説明があれば聞かせてください。

齋藤課長　　まず、目次からですが、基本的につながり、ひろがり、ひととまちに関しましては、中身はほとんど変わっておりませんが、答申の中でいろいろ審議会からいただいた内容等を含めて事務局でも確認する中でお出しした内容です。あわせて、ビジョン体系、それからこれまで答申等の中で出てきました３つのキーワードにひもづいた主な施策の現状と課題というのがあります。なかなか文字ばかりですと見にくいというところもあると思いますので、ここら辺の調整もする必要性があるとは思っていますが、取り急ぎまず「はじめに」というところからスタ

ートして、大綱を最初にうたいながら、大綱の流れを説明しながら、先ほど言った３つのキーワードにひもづけた主な現状と課題を挙げている流れになっています。この流れに沿ってビジョン体系をつくりつつ、最終的に３つのキーワードから成る「実現したいこと」、「取り組んでいくこと」の流れで進めて、最後に先ほど言った「ビジョンを進めるために」というところの整理に流れる構成となっています。一定程度これまでの既存のビジョンの評価を題材として現状の状況を踏まえたものが今回の流れにつながっているというようなニュアンスでの構成にしたつもりではありますけれども、これに対してまたご意見等があればお出しいただければうれしいなというところです。以上です。

領家教育長　　ありがとうございました。大綱の言葉とかそれからキーワードを見ると、ひろがり、つながり、これがベースになりながらまちとひとが発展していく、あなたの学びがひととまちの未来を拓くになっているから、ゴールはひととまちをイメージとしては受け止めるけど、取りあえず施策体系としてはつながり、ひろがり、ひととまちにひもづけて、並列であるとさっき齋藤課長がおっしゃっていましたけれど、というような形で整理をしたという理解でこれを作り込んでいるという説明でいいですよね。その体系図がビジョン体系図ということになることでご理解いただければと思います。ここらあたりで皆さんお感じになられていることとか、ここら辺もう少ししっかりしたらいいのではないかや、あるいは現状と課題と書いてあるけれど、どうなかというような、いろいろな思いがあると思います。何かございましたら聞かせていただければと思いますが、いかがでしょうか。

山本委員　　私は構成としてはすごく分かりやすいと思って読ませていただきました。ただ、この現状と課題のところで、羅列してあるものが、もう少し整理がされるといいと思いました。それから語尾が「必要です」と「求められています」と２種類あります。この２つの使い分けがよく分からないと思いました。「必要があります」というのは主体的で、積極的なことを感じることができますが、「求められています」だと弱くなっているような気がしました。その内容によって使い分けておられるのかなと思いながらも、「求められているからこういうことが必要です」のような流れになるのが、すっきりするなと思ったので、そういうふうに内容の言い回しを変えたりとか、２つの項

目を１つにまとめたりとかすると、現状と課題がより分かりやすくなると思いました。

領家教育長　　なるほど。事務局どうですか。区別、違いとか。

齋藤課長　　ありがとうございます。ご指摘をいただきました。伝える側、そして受け取る側、受け取る側が分かるような表現というのが大切であると今お話を聞きまして分かりました。そういった意味合いでは、やはりもう少しそこの部分の視点として修正を入れる必要性があるかなと思っています。今まず前段でお話をしましたスケジュールの中でも、今回はパブリックコメントをかけます。まず市民の方に見ていただくということになりますので、そういった観点での修正は加えていきたいと思います。以上です。

領家教育長　　あまり意識して使っていないという理解でいいですか。先ほどの２つの言葉の使い分けについては。

齋藤課長　　そうですね、その辺のところは整理していきたいと思います。

領家教育長　　そこの整理をしていただくことは一つ大事だと思います。そのほかいかがでしょうか。お感じになられたこと何でも結構ですので、ご指摘いただければ。

森脇委員　　１０ページのビジョン、体系図がコンパクトにはまとめてありますが、非常に我々には見えにくいという表現でいいのか、字のフォントがどうしても小さくなるので、このあたりが工夫していただけるとという気持ちでいます。

齋藤課長　　すみません、多分そうおっしゃられるのではないかと思いました。できる限り見やすくというか、文字自体が多分小さいというのは皆さんお感じになられるかと思いますので、ここら辺のところ、できる限りこの中で整理できるように調整をしたいと思います。

大谷委員　　目次の構成すごく好きで、この順番が。とても分かりやすいと思いました。このビジョン体系図があることで、すごくまとめて見ることが私好きなのですが、これもし、すごくいいので、Ａ３で横に使ってもいいのではないかと思いました。あと最後これだけのすごいボリュームで進んでいて、最後の大事な部分である「ビジョンを進めるために」というのが少しボリューム的に３分の１ぐらいしかないので、その辺が寂しいのかなと感じました。

領家教育長　　ありがとうございました。

齋藤課長　　ありがとうございます。「ビジョンを進めるために」という

とこに関しては、先ほどいただいたご議論の内容を評価の部分として盛り込む必要性があると思います。さらに、見せ方というような、伝えていく流れについても項目だけを追加して整理をすれば、先ほど言われた３分の１よりももう少し増えると思いますので、ちゃんとした形で最後を締めていくような流れに組み立て直していきたいと考えています。以上です。

領家教育長　　そのほかいかがでしょうか。

原田委員　　文字数が多いように感じます。いろいろな方に読んで頂くためにも、必要な部分を精査して文字数を減らしてはいかがでしょうか。また段落や文字の配列を少し整えた方がより見やすいように思います。

領家教育長　　普通であれば、①がずれていれば、左寄せの文章がもう少し右にずれてないといけないけど、それが一番端に寄っているから、何か違和感があるということですね。

齋藤課長　　なるほど。分かりました。直します。

領家教育長　　そのほかいかがですか、時間の許す限り。あとはもうメッセージで送っていただくということになりますけど。写真についてはどうですか。

山本委員　　写真があったほうが見やすいなと思います。

領家教育長　　文字数をもっと少なくして、現状のところに書いてある文章と、それから実際に具体的に書いてある部分の文章が重複しているのが幾つもあるのを僕も読みながら感じています。そこをうまく整理することが必要かもしれませんね。そうするともう少し読みやすくなると思います。文字が少ないのは絶対、我々が保護者の皆さんに出す文書も必ずそこだけはすごく力を置いていました。それは大事だと思います。

大谷委員　　現状と課題の文字が多いので、もし現状と課題ときれいに分かれているのなら、１つの題目で現状、課題と分けるともう少し読みやすいかもしれませんね。

領家教育長　　つながりとして現状、課題みたいにするわけですね。

大谷委員　　ひろがりの現状、課題と書くと読みやすいのかもしれないです。それが入り交じっていたら読みづらいかもしれません。

領家教育長　　ありがとうございます。それでは、今いただいたところまでは共有したということで、あとプラスアルファについてはどういう形で送ってもらうかはまたご提案していただきます。

齋藤課長　　ありがとうございました。短い時間ですが、いろいろとご意見いただきながらというところで、今日お出しした資料につきましては、今日の内容を踏まえたもので修正を加えていきたい

と思います。
　あらかじめありましたスケジュールでお話ししましたとおり、できる限り１５日のパブリックコメントの実施に向けて整理をしていきたいと思います。その上で、その前段では修正案、事務局内部を含めて目を通したものを委員の皆さん方にもメール等で送らせていただきます。一度確認をいただいて、了解をいただいた上でパブリックコメントをかけていくという方向で進めたいと思います。そういった意味合いでは、短い時間で確認をいただくようになりますけれども、申し訳ございませんがよろしくお願いできればと思います。以上です。

領家教育長　　そうすると、今日が水曜日ですので、金曜日ぐらいまでに追加のご意見等があれば、それをメッセージでいただくような形にして、それらを踏まえて週明けには確認作業をしてもらう、そして１４日には完了させるというスケジュールですね。

齋藤課長　　そうですね。

領家教育長　　そのような流れで進めてまいらせていただければということでよろしゅうございますでしょうか。

教育委員　　＝全員了承＝

領家教育長　　それでは、約１時間にわたって協議をさせていただきましたが、これだけは言おうとした、ここだけはもう一度事務局に言っておきたいということがあればお願いできればと思いますが、よろしいでしょうか。

教育委員　　＝全員了承＝

領家教育長　　それでは、この件についてはここまでで閉じさせていただきます。それでは、本日予定しておりました議事全てが終了いたしました。これをもちまして第９５３回益田市教育委員会臨時会を終了させていただきます。本日は本当にありがとうございました。

＝終了時間　１７時００分＝